

# 施工説明書

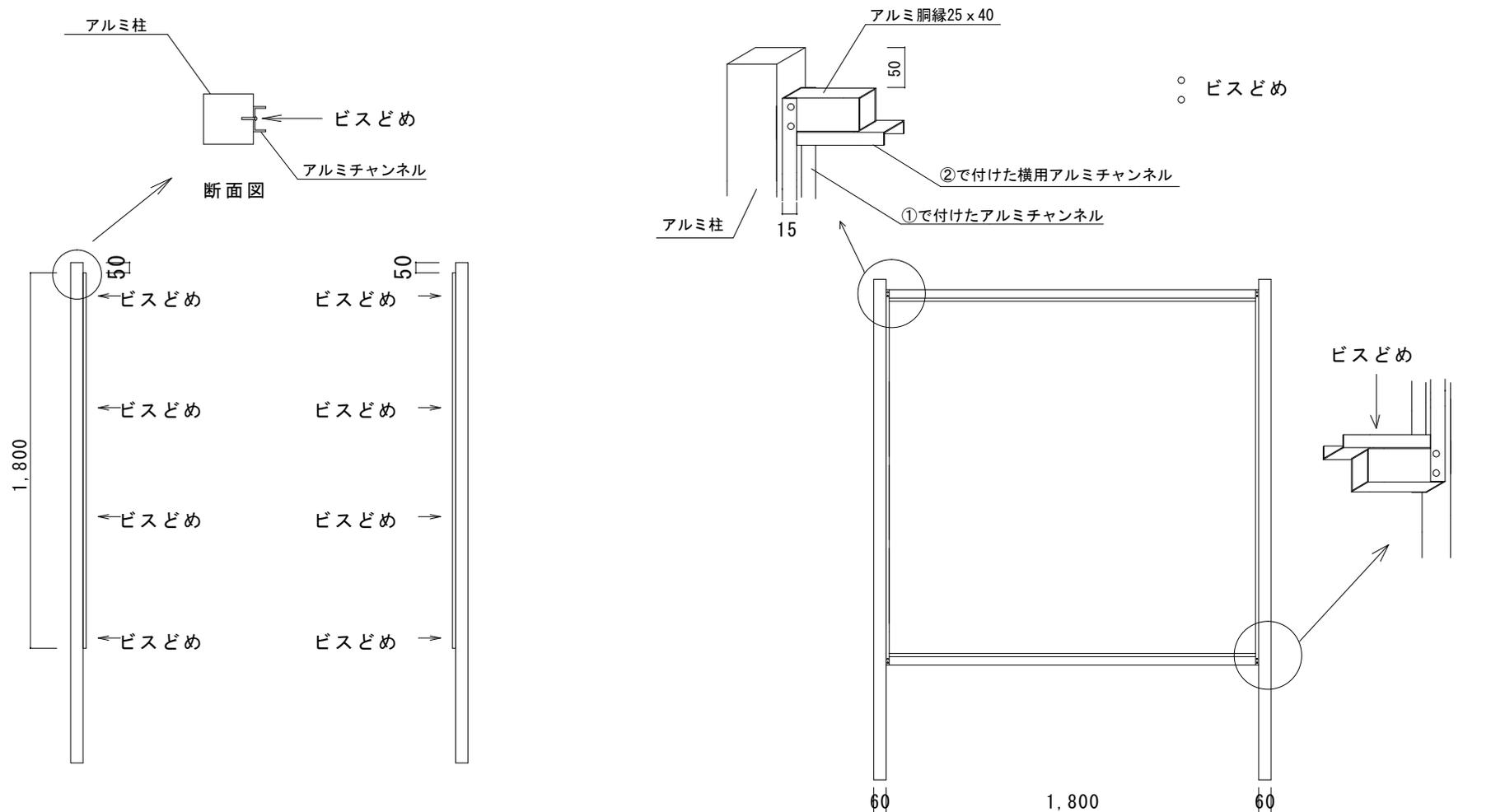
## 清水垣 H=1800の場合

(茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533



### ① アルミ柱にチャンネルを取り付ける。

アルミ柱の上面から50mmさがった所にC型チャンネルを取り付けます。H=1800の場合、チャンネル1本につきビスどめ4ヶ所です。

※4 x 16(茶)ビス使用

### ② チャンネルにアルミ胴縁25 x 40を取り付け、さらに胴縁に横用チャンネルを取り付ける。

付け終えたアルミ胴縁に横用チャンネルをビスどめします。上図の横幅寸法の場合、横用チャンネルの長さは1770mmです。(柱の内々1800mm - チャンネルの高さ15mm x 2) 上胴縁には下向きに、下胴縁に上向きにビスどめして下さい。

※4 x 16(茶)ビス使用

注：アルミ胴縁とC型チャンネルの間に隙間が出来ないようにビスどめして下さい。

# 施工説明書

## 清水垣 H=1800の場合

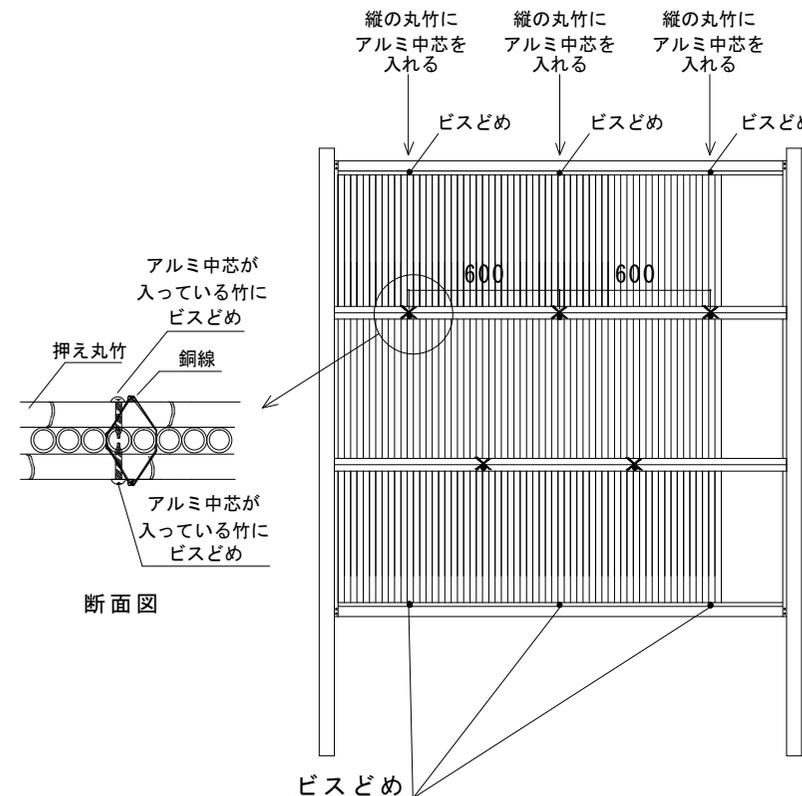
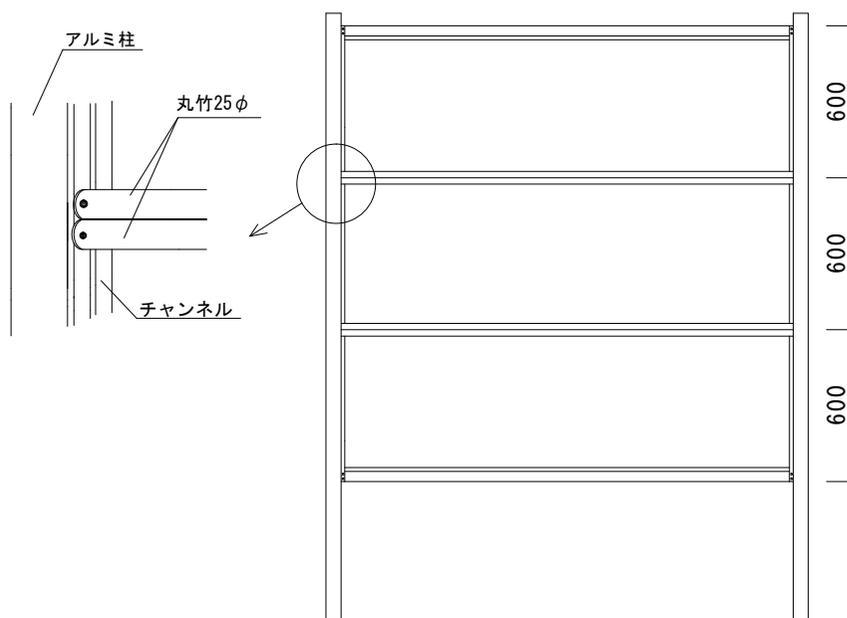
(茶竹仕様の場合、ビスもすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

∴ ビスどめ



### ③縦のチャンネルに押え用丸竹25φをビスどめする。

上胴縁から600mmさがった所に押え用の丸竹25φを2本取り付けます。丸竹キャップを付け、下穴を開けてからビスどめして下さい。反対側も同じ様に2本取り付けます。

下胴縁から600mmあがった所にも同様に丸竹をビスどめして下さい。

※4×40(110-)ビス使用

### ④縦の丸竹を入れる

丸竹25φを端から順に入れ込みます。竹垣の中心から600mmピッチの場所にアルミ中芯を入れて下さい。入れる箇所は3ヶ所です。途中で表側の押さえ丸竹と裏側の押さえ丸竹を銅線を使って縛ります。銅線2本を斜め掛けにし、表と裏の丸竹で縦の丸竹を強く挟みこむように、しっかり縛ります。縛り終わったら押さえ丸竹を縦の丸竹にビスどめして下さい。 ※4×40(110-)ビス使用

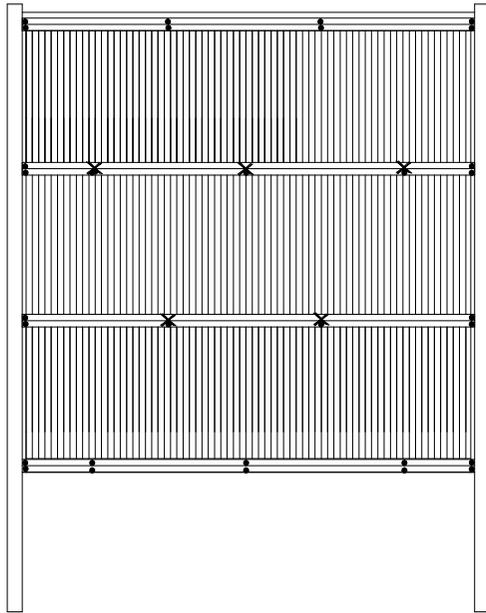
注：縦の丸竹に隙間ができないように、きつく詰めながら入れて下さい。

# 施工説明書

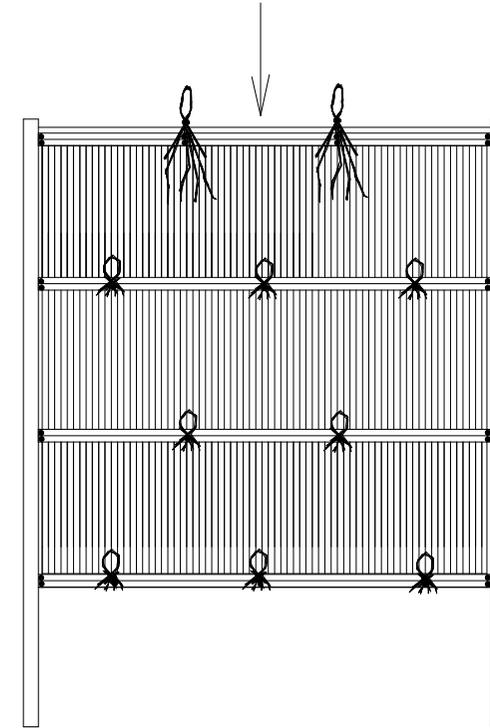
清水垣 H=1800の場合  
 (茶竹仕様の場合、ビスもすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル  
 施工に関するお問合せは  
 TEL 0776-38-2533

：ビスどめ



半割り竹50をビスどめ



## ⑤ 胴縁に丸竹を取り付ける

胴縁を隠すために丸竹を取り付けます。

上胴縁の表・裏に2本ずつ、下胴縁も同じようにビスどめします。

※4×40(茶)ビス使用

## ⑥ 上胴縁の上面に半割り竹50を取付け、化粧結びをします。

半割り竹50を上胴縁の上面にビスどめした後、人工棕櫚縄で化粧結びします。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えておくとほづれが防止できます。

※銅線・4×40(茶)ビス使用

※棕櫚縄の結び方は別紙参照